



第3回目「みんなで情報共有」

鳥の家！ピザParty！独歩の森委員会！アイデアがあふれたフォーラムになりました

日時：11月13日(土) 10:00-12:00

場所：西部コミセン1Fロビー

参加人数：26名

はじめに 地域フォーラム「独歩の森のナラ枯れを考える」シリーズ第1回では境4丁目にある独歩の森でのナラ枯れの状況を見て、第2回では講師の先生からナラ枯れの仕組みや日本での状況、多摩での状況、未来像などを学びました。第3回はそれらをふまえ第4回の意見交換会に向けて理解を深め考えをまとめました。



第1回・第2回のフォーラムをみんなでささうしました。

■ これまでの振り返り

独歩の森ではコナラが33本中15本が枯れてしまったこと、被害にあう木の特徴、ナラ枯れの仕組みなどを復習しました。その上で、短期的な対策としてトラップ（罠）によるカシナガの捕獲、中長期的な対策として萌芽更新で維持できる林への再生、さらに将来の選択肢として多様な方向があり得ることを確認しました。詳しくはニュースレターの#1と#2をご覧ください。その後、フリーでテーブルごとに分からないことなどを話し合いました。

■ 第4回フォーラムに向けて

第4回フォーラムは関係者・有識者によるパネルディスカッションと市民を交えて意見交換を行います。それに向けて2つのお題「知りたい点」「未来をどうするか（自分たちにできること）」について考えを出し合い、どんな意見があるか分類しました。

■ 知りたい点

(1) ナラ枯れ



振り返り後、テーブルごとにフリーで話し合い。独歩の森のこと、近所の木もナラ枯れのような、生態系への影響は？他の地域はどうしてるの？
ここは高校生参加者の話に興味津々のテーブル

- ・ ナラ菌を不活性化する方法や薬剤の開発現状
- ・ 虫を退治するにはどんな方法があるのか？
- ・ ナラ枯れは昔からあることなのか？
- ・ カシナガ対策は独歩の森だけの問題ではない

(2) 行政

- ・ 独歩の森の近隣住民の意見
- ・ 今回のトラップの費用と伐採費用
- ・ 市当局が積極的に立案、実行してほしい
- ・ どうしたら市が動ける(更新できる)のか？
- ・ (土地取得から)今までの経緯が分かるようにWEBに載せてほしい
- ・ 市の方針があいまい
- ・ 合理的な行政判断をすべき

(3) ビジョン

- ・ ドローンで高いところなどから見てみたい
- ・ 20年後の独歩の森を見たい
- ・ 今のまま放置したら常緑樹林になるのか？
- ・ 明治神宮の森の現状(ナラ枯れ)
- ・ 枯れてから伐ると若返えられない

(4) 生物多様性

- ・ 伐採で一時的に生物多様性は失われないか？
- ・ 下草を増やすには伐採以外の方法はないか？
- ・ 55cmの太さの木と15cmの太さの若い木とどちらがCO₂の吸収量が多いのか？
- ・ カシナガが入った木のCO₂吸収量は、健全な木よりも少なくなっているのか？

裏面につづく

① ニュースはHPよりダウンロードできます

西部コミュニティ協議会



武蔵野市境5-6-20

seibu-c@bz04.plala.or.jp

<https://seibu-c.sakura.ne.jp/>



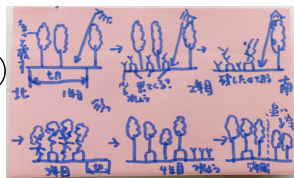


アイデアを分類しました

■ 未来をどうするか (自分たちにできること)

(1) 更新

- ・ 1000㎡前後の小区画に分けて年次に分けて皆伐更新 (10~15年サイクル)
- ・ 実生 (どんぐりからの芽生え) による更新でしかナラ枯れの問題に対処できないと思う
- ・ 木の若返りには定期的に伐る必要がある
- ・ 循環型の雑木林の構築 (できること: 日々の手入れ、伐採の手伝い)
- ・ 行政・地域住民連携の循環型雑木林 (例) 伐採祭り、イベント(ピザを焼く、イモを焼く、みんなで食べる) (できること: イベントの手伝い)



・ 右図

(2) ビジョン

- ・ 小学生がひとりでも歩ける明るい雑木林
- ・ 地域の緑地として未来に残して下さい
- ・ 20年後の生き生きとした林を考える、20年計画をつくる (市民、行政と)

(3) 独歩の森の意味を大切に

- ・ 独歩の森は都市計画緑地であって単なる公園ではない、武蔵野の雑木林を保全する目的を確認して市民と市が協力して計画を作成する
- ・ 独歩の森の活動の意味を考える(1)教育…萌芽更新を通じて人と自然の共存した環境を学ぶ、(2)歴史・文化・保全…日本で古くから続く文化や歴史をしっかりと伝える、(3)行政コスト…トラップなどの費用と萌芽更新による管理、どちらの方が無駄がないのか?

(4) 伐採

- ・ カシナガの樹木は即時伐採処理 (危険除去)
- ・ 大径木は即時伐採、実生を含めて更新を計る

- ・ 短期的対策 (トラップ等) は取らない、(B/C 費用便益比が悪い、コスト倒れ) 羽のあるカシナガはどこからでも飛んで来る
- ・ 可能性にかけて、試しに伐採してみたら

(5) 生物

- ・ 地域の鳥の住みかがないからコナラにこだわらず、鳥の食料になる木々を植えるのも案、管理が簡単な持続可能性の高い樹種を増やす
- ・ 伐採した木を昆虫の餌にしたりして、何らかの形で自然の中で循環させていく
- ・ 工事は3-7月頃はやめて下さい (渡り鳥)

(6) 雑木林の活用

- ・ 独歩の森の炭を作り販売する
- ・ 写真集や、ライブカメラ中継などを見せながら、市外の人に独歩の森を紹介したい
- ・ 薪ストーブを介護施設や学校や保育園に入れて使う、環境教育として
- ・ デイキャンプ (幼児) ・ 昼寝 (ハンモック)
- ・ 雑木林の循環ができれば薪を使ってキャンプファイヤー・ピザパーティー
- ・ 薪の利用・シイタケなどの栽培・市民交流の場・子どもの自然体験の場

(7) 若い世代へ

- ・ 若い世代に引き継ぐために中高生に森への興味をもってもらう取組みが大切

(8) ボランティア

- ・ 雑木林の保全ボランティア

(9) 市民と行政の協働

- ・ 市が動くよう地域住民で要請する会など作る
- ・ 2007年の専門家等の提言は現在からみても適切、放置されていたのは不思議

(10) 委員会・協議会

- ・ 今後の管理は協議会などを立ち上げて意見集約の上、住民の総意で
- ・ 独歩の森委員会を作り、定期的な会合をし、5年位いで伐る計画を作り協議会を続ける

(11) 情報提供

- ・ 市民へナラ枯れの知らせ、理解してもらう
- ・ 森の危機を伝える・近隣住民への情報提供

.....これからの予定 (最終回)

11/23 10~12時 パネルディスカッション

「独歩の森の未来を考える」